

第2次恵那市地域計画

山岡地域自治区

【キャッチフレーズ】

『 わたしも元気 地域も元気 』 ～みんなでいっしょにまちづくり～

【現状と課題】

山岡町は、古くから三大産業である「寒天」、「陶土」、「農業」が栄え、特に、天然細寒天の生産量は日本一であり、今も冬の風物詩となっています。陶土では、良質な耐火粘土が産出され、農業では、いち早く土地改良等に取り組み、その基盤を築きました。

「道の駅おばあちゃん市山岡」や「飯高観音」など、恵那市を代表する観光スポットのほか、ササユリの群生地「イワクラ公園」や「山岡駅かんでんかん」、「陶業文化センター」、「花白温泉」など、町の特色を生かした施設があります。また、里山風景、豊かな自然環境に恵まれており、これらは、多くの町民が自慢できる大切にしたい山岡の宝物だと考えています。

しかしながら、人口減少、少子高齢化は進捗しており、後継者不足による農地や山林の荒廃、空き家の増加、交通手段や独居など、将来への不安が大きな課題となっています。

平成15年8月には、全世帯加入の「NPO法人まちづくり山岡」を設立し、特色あるまちづくりをすすめてきました。今後更に、地域活性化のためより多くの町民の参画による、効果的・効率的なまちづくりが求められています。

【目指すべき地域の姿】

山岡町は、特色ある観光施設や交流施設を有するとともに、自然環境にも恵まれています。更に、細寒天や陶業文化など、他地域には無い魅力ある資源があります。

特色ある資源を有機的に結びつけ、より一層磨きをかけ、誰もが山岡町に誇りと愛着をもち、「多くの人を訪れる活気あるまちづくり」を目指します。

また、助け合いと支え合いの心にあふれ、子どもから高齢者まで、将来にわたって安心して快適に暮らしていけるまちづくりを推進します。

結果、人口流出抑制と、転入者の増加を促し、人口減少にブレーキをかけ、地域をつなぐだけでなく世代もつなげていきます。

実現には、多くの住民の参画が不可欠となります。自分たちの地域のことは、まず自分たちで考え、自らが取り組んでいくという姿勢から、生き生きとした知恵や活動が生まれてきます。

地域の人たちの思いがたくさん詰まった仕組みづくり、多彩な活動による創意工夫、人材育成にも取り組んでいきます。また、地元の魅力を掘り起こし、発信していく情報発信力を強化していきます。

【計画の柱(基本目標)】

1. 青少年が健やかに育つまち ～家庭・地域 みんなで育てる山岡っ子～
子どもたちは地域の宝。健やかな成長は地域全体の願いです。連携して子育てしやすいまちづくりに取組みます。
2. 安全で安心して暮らせるまち ～助け合い・支え合い・人と人が結び合う～
「健康・福祉ハートフルネットワーク（仮称）」を構築し、まちぐるみで健康促進と高齢者が抱える生活課題に寄り添った相談・支援活動を行います。
住民自らの意識と行動で、災害に強い安心安全で快適なまちづくりに取組みます。
3. 山岡の「よいところ」を活かすまち ～地元の魅力をアピールし続ける～
豊かな自然環境、特色ある観光資源を活用し、交流や体験の機会を通じて、交流人口の増加と、地域活性化を図ります。
4. 多くの町民が参画する活力あるまち ～地域の人たちの知恵と行動を集める～
山岡の良い仕組みを残しつつ、みんなが参画して、生き生きと活躍できる、次代に対応できる新たな体制づくり・雰囲気づくりをすすめます。また、地域の魅力を発掘し発信する情報発信力を磨いていきます。

【基本施策】

計画の柱1：青少年が健やかに育つまち

～家庭・地域 みんなで育てる山岡っ子～

(1) 関係機関が連携し、地域ぐるみで取組む体制づくりと事業展開

町内には、既に子どもたちに関わる多くの組織や団体があり、また、子どもたちを対象にした事業やイベントも展開されています。これらが連携と調整をとり、より効率的で効果的な取組みをすすめます。

(2) 三世代交流を軸とした施策の展開

地域や異世代の人々とのふれあいの機会は、子どもたちに地域への誇りと愛着をもたせるとともに、豊かな人間性を育むことができます。また、高齢者のもつ知恵や技術の活用は、高齢者の生活に潤いをもたらすこともできます。

(3) 地域連携による交流・体験の機会の提供

児童生徒が減少するなかで、他校や他地域との交流の機会を、地域としても提供する必要がある、明知鉄道の活用や近隣地域の歴史や先人を学ぶ機会を提供していきます。

(4) 山岡の歴史・伝統・文化の保存伝承

山岡町では、爪切地蔵尊奉納花火や白山比咩神社、春日神社などでの獅子舞奉納、地歌舞伎、寒天の突き出し風景など昔ながらの貴重な歴史や伝統が守られ、地域行事や食文化などが継承されている。しかし、少子高齢化の影響により次世代へ継承していくことは難しい時代となってきた。

こうした中で、山岡の伝統文化の保存伝承と後継者育成につなげる取り組みを行うとともに、活動を通じて世代を超えた住民相互の交流を促進します。

計画の柱2：安全で安心して暮らせるまち

～助け合い・支え合い・人と人が結び合う～

(1) 健康寿命100歳大作戦

若い人から高齢者まで、健康づくりの意識啓発に努め、既存の健康増進施設の活用など、手軽にできる運動と健康法で健康寿命を延ばします。

(2) 食して、笑って、挑みて、楽しむ高齢期

人とのつながりをどのくらい持っているかが、元気に暮らすための鍵です。「サロン」活動を支援するとともに、同趣同好の集まりを組織化するなど、生き生きと豊かに過ごせる高齢期をサポートします。

(3) 地域が家族になる「あんじゃない」のまち

買い物や通院など、高齢者世帯や独居世帯が、安心して「安木（あんき）」に暮らすため、地域で支え合う仕組みの構築と事業展開をすすめます。

(4) 住民自らの行動で、安心安全、快適なまちづくり

関係組織の再構築と、向こう三軒両隣の「近助」の意識を高めるなど、地域での防犯・防災対策の取組みを充実させます。また、環境整備活動が、より効率的・効果的になるよう行政等との協働をすすめます。

計画の柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち

～地元の魅力をアピールし続ける～

(1) 地域資源を活かした体験型プログラムによる交流機会の提供

農業、林業、里山、豊かな自然環境、また、そこにある技術や知恵を活かした基幹産業の振興や、体験型のツアーやイベントにより交流機会を提供し「山岡のファン」を増やし、定住人口の増加を促進します。

(2) 山岡の特色を活かして交流人口の増加推進

細寒天や陶土、その関連施設は山岡でしかない特徴をもっています。まちづくり組織と連携を深め、「道の駅」や「飯高観音」ともあいまって特色ある事業を推進し交流人口の増大を図ります。

(3) 山岡駅周辺の活性化と賑わいの創出

山岡駅周辺には、「山岡駅かんでんかん」や「イワクラ公園」など、都市住民との交流の拠点として魅力ある施設が整備されています。明知鉄道とも連携し、これらを結びつけ、賑わいの創出をすすめます。

計画の柱4：多くの町民が参画する活力あるまち

～地域の人たちの知恵と行動を集める～

(1) 新たな仕組みづくり・雰囲気づくり

町民のまちづくりへの関心を高めるとともに、役職等にとらわれず、まちづくりに関心のある人や若者が自由に参画し、活躍できる仕組み、雰囲気づくりをすすめます。また、継続的な取り組みができるよう人材育成をすすめます。

(2) 情報発信力の強化

山岡の魅力を広くPRし、交流人口の増加を促進するため、山岡の「強み」「特色」を開拓し、効果的に発信する情報発信力を高めます。

【地域間連携での取り組み】

| 連携する地域 | 計画の柱（基本目標）及び施策の項目 |
|--|--|
| ☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町 | 柱1：訪れたいまち （3）新しい観光資源の活用・リピーター対策 柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち （2）山岡の特色を活かして交流人口の増加推進 柱1：賑わいと活気のあるまち （2）団体やイベントの相互連携による賑わいと活気 柱1：今ある自然を資源として活かそう （1）既存施設の充実と見直し 柱2：豊かな自然と人々の交流で輝く上矢作 （1）観光施設の充実による賑わいのあるまち |
| 取り組み内容 | |
| ◎広域観光による地域活性化（観光） 共通パンフレット・観光周遊コースの作成、イベント共催など広域で行うことにより魅力アップにつなげ観光客・交流人口の増加を目指します。 | |

| 連携する地域 | 計画の柱（基本目標）及び施策の項目 |
|--|---|
| ☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町 | 柱1：訪れたいまち （6）人材確保（育成） 柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち （2）山岡の特色を活かして交流人口の増加・推進 柱4：郷土の魅力と誇りを次世代へ （1）郷土に学ぶ 柱2：響け！伝統文化と学びで繋がる串原 （4）人材育成と活用 柱4：知恵と、技、喜びをつなげる ふるさと上矢作 （1）人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動 |
| 取り組み内容 | |
| ◎文化や人材の交流による人材育成確保（文化） 恵南地域間における文化交流、人材交流等を深め、互いの地域の魅力を高め合うと同時に、伝統文化の保存伝承と後継者育成に努めます。 | |

| 連携する地域 | 計画の柱（基本目標）及び施策の項目 |
|---|---|
| ☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町 | 柱1：訪れたいまち （6）人材確保（育成） 柱4：多くの町民が参画する活力あるまち （1）新たな仕組みづくり・雰囲気づくり 柱3：若者を中心とした地域力の向上 （1）若者が活躍できるまち 柱3：世代交代と耐える力 （4）次世代リーダーの育成 柱4：知恵と、技、喜びをつなげる ふるさと上矢作 （1）人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動 |
| 取り組み内容 | |
| ◎恵南地域の若者達の能力活用と支援 若い力を活用した地域づくりを、恵南地域の若者達による話し合う機会を経て進め、事業の実践に繋がられるよう支援していきます。 | |

| 連携する地域 | 計画の柱（基本目標）及び施策の項目 |
|---|--|
| ☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町 | 柱2：住み続けたいまち （3）交通手段の確保 柱2：安全で安心して暮らせるまち （3）地域が家族になる「あんじゃない」のまち 柱2：安心していつまでも住み続けられるまち （4）地域の安全・安心な交通の確保 柱3：世代交代と耐える力 （3）住民同士の支え合い 柱1：いつでも、いつまでも誰もが安心ほっとするまち （3）安心で快適なまちづくり |
| 取り組み内容 | |
| ◎高齢化社会に対応した、交通弱者対策などの地域福祉力の向上（福祉） 公共交通機関の利用が困難な方の、通院や買物のための移動手段確保などによる日常生活支援や、近くで買い物できる移動販売車などの運営を通して、地域福祉力の向上を図ります。 | |

| 連携する地域 | 計画の柱（基本目標）及び施策の項目 |
|--|---|
| ☆山岡町 ☆串原 ☆上矢作町 | 柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち （1）地域資源を活かした体験型プログラムによる交流機会の提供 柱1：今ある自然を資源として活かそう （2）田畑等の維持・山林の利活用 柱1：農林業を活かした躍動する元気なまち （3）地球環境を守り、森林づくり活動に対する協力体制 |
| 取り組み内容 | |
| ◎木の駅等を活用した自然環境の保全と、地域通貨導入の検討（環境） 間伐促進等による地球環境整備と森林保全による災害防止を図りつつ、木の駅プロジェクトの導入により、間伐材等の有効利用と、地域通貨による活性化の輪を広げていきます。また、山林が若者の雇用の場となるよう支援します。 | |